情報科学研究科　社会システム情報学専攻
情報社会基盤環境論講座　外山研究室

教授：外山勝彦　　准教授：小川泰弘　　助教：大野誠寛

研究内容

言語処理と知識処理に基づく情報システムの基礎技術の開発・社会への実際的応用

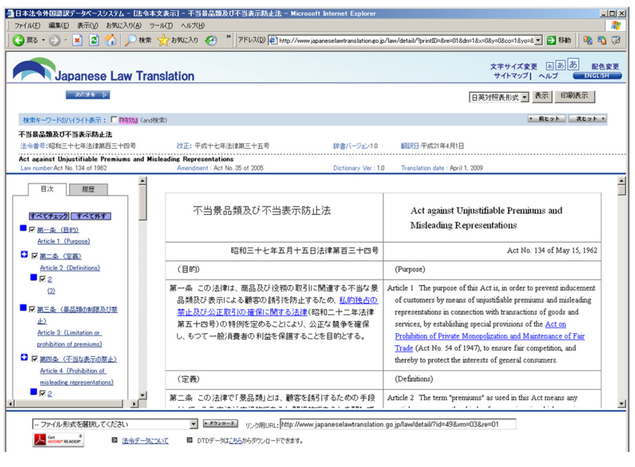
～　よりグローバルでより高度なコミュニケーションの実現を目指して　～

法制執務支援

- 対訳法令文書の構造化・データベース化・バージョン管理
- 法令文の作成・翻訳・理解支援
  - ■ 学際連携・産学官連携・国際連携に基づく共同研究

◆法情報の国際的発信・共有の促進
◆法制度に対する透明性・信頼性確保

【日本法令外国語訳データベースシステム】
http://www.japaneselawtranslation.go.jp/

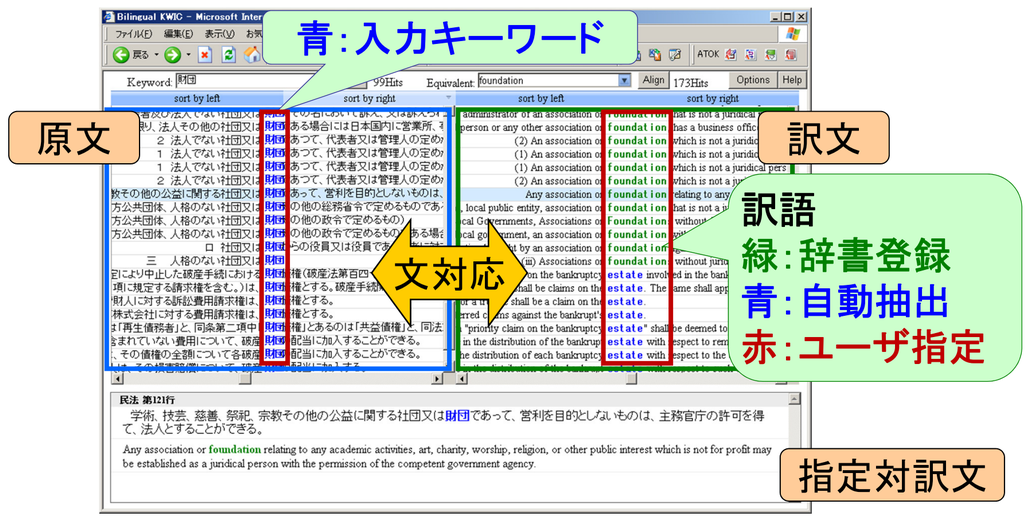


言語知識自動抽出

- 対訳表現抽出支援ツール Bilingual KWIC® の開発
  - ■ 対訳表現を自動抽出・文脈と共に表示
- 類義語自動抽出手法 Monaka の開発
  - ■ 語と文脈の共起を利用

◆翻訳支援のための基礎技術
◆翻訳業務で実際に活用

【Bilingual KWIC®】



膠着語間機械翻訳

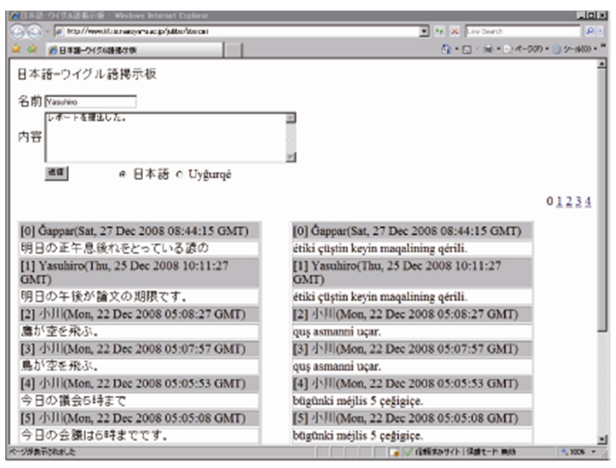
- 膠着語間機械翻訳システムの開発
  - ■ 日本語ーウイグル語
  - ■ 日本語ーウズベク語

肉	を	たくさん	食べ	た	。
↓	↓	↓	↓	↓	↓
gosh	-ni	jiq	yé	-dim	.

語順はほぼ同じ

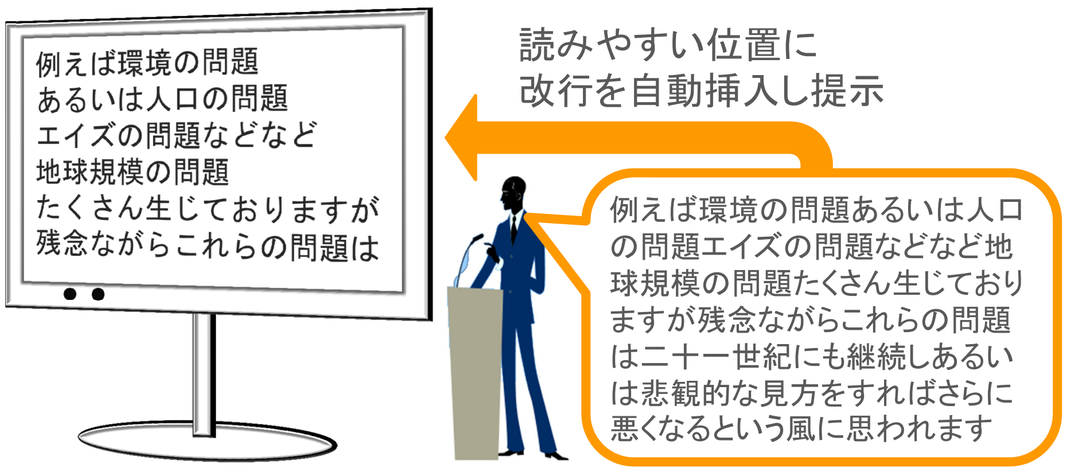
◆アジアの国々との情報交流の促進

【日本語ーウイグル語双方向翻訳掲示板】



テキスト作成支援

- 読みやすいテキストを作成するためのテキスト整形技術・基礎技術の開発
  - ■ 改行・空行・句読点の自動挿入
  - ■ 語順整序
  - ■ 統計的係り受け解析

◆人間の知的活動の支援
（知識獲得や文書作成など）

【講演の字幕生成のための改行挿入】